



世界に希望を生み出そう

# 国際ロータリー 2023-2024 年度 前橋北ロータリークラブ会報

2023年9月4日(月) 第1800回

会長 廣木晴久 幹事 上村哲郎

会場監督担当 小野 靖浩 副委員長



◇ロータリーソング それでこそロータリー

◇会員数 78 名 ◇出席 76.29 %

## ◇お客様ご紹介

前橋西ロータリークラブより

和佐田幸子会長エレクト 様 金井修 様  
鎌田一郎 様 植木信行 様 市村由理 様

前橋南ロータリークラブより

永井 豊 様

## ◇記念品贈呈

結婚祝 石垣会員 岡田会員 佐藤会員 相原会員

誕生日祝 門倉会員 湯澤会員 菅原会員

真下敦紀会員 中嶋会員 藤森会員

萩原会員

## ◇ニコニコBOX

相原会員…結婚祝をありがとうございました。  
20年がたちました。

岡田会員…結婚祝をありがとうございました。

佐藤会員…結婚祝をありがとうございました。こ  
れからも頑張ります。

萩原会員…誕生日祝をありがとうございます。

門倉会員…誕生日祝をありがとうございます。

前橋西 RC…お世話になります。メイクツアーと  
福田さんの外部卓話のご案内に参りま  
した。本日はよろしくお願ひいたしま  
す。

塩谷会員…昨日の地区大会チャリティーゴルフ大  
会でニアピン賞を取ったのでニコニコ

上村幹事…前橋西 RC の皆様、前橋南 RC 様、本  
日はメイクのご参加をありがとうございます。

山崎会員…野球部の初戦突破おめでとございま  
す。

廣木会長…本日は多くのお客様にお越し頂きあり  
がとうございます。また、先月の私の  
還暦のお祝を頂きました。元の還に戻  
るので一からやり直します。

◇幹事報告 上村幹事

◇委員会報告 親睦委員会

齋藤副委員長

職業奉仕委員会 塚越委員長



## ◇会長の時間 「ロータリーの友月間」

9月は基本的教育と識字率向上月間とロータリーの友月間です。基本的教育と識字率向上月間は2014年10月RI理事会で9月を重点分野:「基本的教育と識字率の向上月間」としました。地域社会で基本的教育を普及し、識字能力を高めるためのプログラムを支援し、地域社会の参加を促進、成人識字率の向上、教育における男女格差を減らすための活動、基本的教育と識字率向上に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間です。

ロータリーの友月間は雑誌月間の廃止に伴い2015-16年度より日本独自に、9月を「ロータリーの友月間」としました。ロータリー地域雑誌と呼ばれる「友」誌は、全世界に31誌ある地域雑誌でその目的は地域の特徴ある活動をその地域のロータリアンが共有することです。また、『The Rotarian』という発行部数50万部を超える雑誌の中からいくつかの記事をすべての地域

雑誌にも掲載しているのは、全世界のロータリアンが共通して知っておかなければならないため、会員の義務でもある雑誌の購読や記事紹介を会員に強調する月間だそうです。

先週は夜間例会でしたので、8月27日(日)開催されました。クラブの戦略計画をテーマにしたクラブ活性化ワークショップについて報告します。参加予定者は会長、幹事、会長エレクト、研修リーダー又は戦略委員長の4名でした。当クラブからは富岡ガバナー補佐、上村幹事、小野会員と私で出席しました。

初めに地区ラーニングファシリテーターの本田 PG のクラブ戦略計画づくりガイダンスがありました。その中で前橋 RC のビジョン、戦略計画づくりの事例の紹介があり、20年前の2003年から活動を始めていたのには大変驚きました。

ガイダンスの後、各分区ごとの分科会があり、各クラブのクラブ戦略計画の発表がありました。どのクラブも基本的には奉仕活動の充実と会員増強が柱になっていると思います。この時初めて他クラブのクラブ戦略計画を目にしたので非常に参考になりました。今後、地区内の他の分区のクラブの戦略計画も閲覧できるそうです。その後、これからの5年間の戦略的優先事項として目標にしている4つのテーマに分かれてグループ討議を行いました。会長グループは「より大きなインパクトをもたらす」でした。その中でエコキャップ活動について前橋東 RC の会長より話がありました。

エコキャップ活動は1個2.5gのペットボトルキャップを800個、約2kgリサイクルするとポリオワクチン1本分になることとリサイクルするためCO2の削減にもつながる活動だそうです。

良い活動だと思い、エコキャップ活動について調べてみました。活動に対する評価はリサイクル、環境問題に関する活動を通じて、子ども達の命を助けていることが良い評価とされています。

活動に対する批判もあり、輸送時に必要なエネルギーが膨大になり輸送時に大量のCO2等が排出され、逆に環境に悪影響を与える。リサイクル時にキャップの原材料であるポリエチレンとポリプロピレンを選別せずに材料としてケミカルリサイクルすることが出来ず、分別する機械が5000万円と高額で普及していない。又、不純物の分別、洗浄、脱水乾燥の工程が必須であり莫大なエネルギーが投入され大量の二酸化炭素が発生する。その量は、焼却による二酸化炭素の増加を上回っているといわれています。

又、キャップ交換収入より高い運送費といわれており、運送費を寄付した方がはるかにワクチンを購入することが出来るとも言われています。

とあるロータリークラブではエコキャップ活動を2010年より始め、2017年2月に7年間の活動を終了したそうです。賛同するかどうかは、その辺を踏まえて冷静に判断していかなければならないと思いました。そのような事を感じたクラブ活性化ワークショップでした。

昨日はRI2840地区2023-2024年度地区チャリティーゴルフコンペが開催されました。参加された方は大変お疲れさまでした。8名参加で、結果は上位3名による団体戦は33クラブ中23位、個人戦では14位の川口会員が当クラブの最上位でした。その他は入賞、飛賞には惜しくも絡まず、唯一ブービーメーカーで賞を頂いた方がいらっしゃいました。

残暑厳しい中でのコンペでしたが体調を崩される方もなく楽しくラウンド出来ました。来年も開催されると思いますので是非多くの方と共に参加したいと思います。

そして相馬野馬追の後日談です。

今年は83人が熱中症の疑いで救護され、馬は111頭で内2頭が亡くなったそうです。8月27日開催された検討会で、騎馬の確保や暑さ対策などの観点から、2024年からは、5月の最終土曜日から月曜日までの3日間で開催することを決めたそうです。ただ、日程の変更は、国の重要無形民俗文化財の指定が維持されることを前提としているため、今後、県や国などと協議して正式に日程を決めるとしているそうです。再来年の5月にまた行きたいと思います